

2026年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔公民〕〔公共〕	2 年	2 単位	教科書	私たちの公共 〔清水書院〕	副教材等	私たちの公共ワークノート 〔清水書院〕	履修対象・ 使用教室 等	2年全コース
教科・ 科目 の 目標	(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。								
	(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れた構築したことを議論する力を養う。								
	(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。								
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。			現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れた構築したことを議論する力を養う。			よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 〔100点換 算〕	評価資料等			予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト			2～3回、複数単元の総括として実施			40	30	
	小テスト			単元ごと			40	30	
	ポートフォリオ			単元ごと				10	40
	授業態度			毎時間				10	30
	提出物			適宜、主に授業で実施したプリントやテスト範囲のワーク			20	20	30
〔観点別配分％〕			〔3観点の比重を％で示しています〕						
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名		配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕
									知・技 思・判・表 態度
4 5	【第1部「公共」とはなんだろう】 第1章 社会で生きるとのこと	10	青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 世界の宗教、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。		小テスト		○	○	
					ポートフォリオ				○
					授業態度				○
					提出物		○	○	○
6 7	第2章 みんなが幸せな社会とは？	12	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。		単元テスト		○	○	
					小テスト		○	○	
					ポートフォリオ				○
					授業態度				○
8 9	第2章 みんなが幸せな社会とは？ 第3章 ルールや法はなんのため	10	生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。		小テスト		○	○	
					ポートフォリオ				○
					授業態度				○
					提出物		○	○	○
10 11	【第2部 現代社会のしくみと課題】 第1章 私たちの社会と憲法	12	具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。 「消費者の権利と義務」について、具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。		小テスト		○	○	
					ポートフォリオ				○
					授業態度				○
					提出物		○	○	○
12 1	第1章 私たちの社会と憲法	14	具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。 「消費者の権利と義務」について、具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。		単元テスト		○	○	
					小テスト		○	○	
					ポートフォリオ				○
					授業態度				○
2 3	第1章 私たちの社会と憲法	12	具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、平等権と自由権について理解する。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち、「新しい人権」について理解する。		単元テスト		○	○	
					小テスト		○	○	
					ポートフォリオ				○
					授業態度				○
提出物		○	○	○					

学習の アドバイス	毎時間の授業内の活動やそれに伴うプリント提出を主体的に行って下さい。
--------------	------------------------------------